

## 健康づくりの拠点となる「健康の駅」について

新風会 沢田 広志

**問** 市民の健康増進を展開し積極的な活動を推進するべく、市内のコミュニティセンターや老人憩の家、町内会館等を活用し、地域住民の健康維持増進を目的に、健康のための活動を行う施設で、集まる人たちが自由に交流できる交流拠点（サロン）として、「健康の駅推進機構」により認証が必要とされる「健康の駅」の設置について伺います。



**答** 「健康の駅」については、医療・福祉施設や保健施設のほか、運動施設などで一定の要件を満たした施設のうち、地域住民の健全な健康維持増進活動を行う拠点として、「健康の駅推進機構」により認証された施設であります。

現在、市民の健康づくりに係る取り組みを進めるにあたり、ふれあいセンターが、その拠点の一つとして機能しているとともに、町内会健康づくり推進事業や介護予防教室などでは、町内会館やコミュニティセンターなど、地域の施設

を利用し事業展開しています。

また、食生活改善協議会が取り組んでいる地域健康づくり料理教室や主に高齢者の健康づくりや交流を目的として地域で開催されているサロン活動などでも、同様に各施設が利用されており、これらの取組みにより健康増進や住民同士の交流を図る場として機能しています。

## TPP参加による市内農業への影響について

日本共産党 土田 政己

**問** 安倍首相は3月15日、多くの道民や関係団体の意向に背き、TPP交渉への参加を表明しましたが、TPP参加による市内農業と地域経済に及ぼす具体的な影響について伺います。

**答** TPP参加による市内農業と地域経済に及ぼす具体的な影響ですが、本年3月15日に国が公表しました農林水産物への影響試算によりますと、農産物の生産減少額は約2兆7千億円、品目別で影響額が最も大きいのは米で、生産減少額は1兆100億円と試算されています。北海道農政部の試算によると米が生産額の50%、597億円、酪農が生産額の45%、1千175億円の減少、その他、小麦、てんさい、原料用馬鈴薯などにも大きな影響を受け、北海道全体の農産物の影響額は4千762億円、関連産業や地域経済への影響額は1兆5千846億円で、農家戸数が2万3千戸減少すると試算されています。



また、TPPは農業だけでなく金融、医療、保険、雇用などの分野での規制緩和が含まれ、地域経済にも大きな影響が懸念されます。市内農業への影響については、道農政部の試算を当てはめますと、平成24年度の当市の米の生産額は5億6千万円で、その50%、2億8千万円が減少し、酪農では1億6千万円の生乳生産額が45%、7千200万円の減少となり、市内農家の約7割、195戸が影響を受けます。さらに、農業関連産業以外にも、商業、金融保険、運輸など地域の経済にも大きな影響がでます。

## 5 一般質問・すながわの砂つぶ

### 「地域おこし協力隊」の活用等について

新風会

水島美喜子

問

#### 病児・病後児の保育等について

きの家庭など突然の発熱や病気の女性の就業率が高まり、共働き

活動について伺います。  
まちなか集客施設に2名常駐して、イベントや作品展示などを企画して施設への集客を図ると共に、訪れた方々に商店会や各個店等の情報提供や発信を行い、商店街への回遊促進及び商店街活性化の拠点施設として、運営するための活動を考えています。

いずれも砂川はない新しい風を開してもらおうと考えています。



地域おこし協力隊とSUBACo

問

この度、砂川市は「地域おこし協力隊」の制度を活用し3名を採用すると聞きました。具体的な活動について伺います。

まちなか集客施設に2名常駐して、イベントや作品展示などを企画して施設への集客を図ると共に、訪れた方々に商店会や各個店等の情報提供や発信を行い、商店街への回遊促進及び商店街活性化の拠点施設として、運営するための活動を考えています。

また、商工観光振興活動の隊員1名は、地域ブランドの開発及びPR、イベント企画、観光資源発掘、情報発信強化などの活動を企画していくことを考えています。

子どもを抱え、預け先がなく困っている人が多いのが現状です。病児・病後児保育は、子育て・就労の面からも大切な支援事業であると思いますが、考え方を伺います。

答 病児・病後児保育は、保護者の子育てや就労を支援する面から大切な事業であると考えていますが、実施については利用児童に対応するため、看護師等の配置のほか、事故防止や衛生面に配慮した専用スペースの整備など、受け入れ準備を満たすための条件等があることから、必要性や可能性などを十分考慮しながら検討します。

子どもを抱え、預け先がなく困っている人が多いのが現状です。病児・病後児保育は、子育て・就労の面からも大切な支援事業であると思いますが、考え方を伺います。

答 病児・病後児保育は、保護者の子育てや就労を支援する面から大切な事業であると考えていますが、実施については利用児童に対応するため、看護師等の配置のほか、事故防止や衛生面に配慮した専用スペースの整備など、受け入れ準備を満たすための条件等があることから、必要性や可能性などを十分考慮しながら検討します。

## すながわの砂つぶ

各々の議員が各行事に参加した時の写真を集めました。



河川清掃 7/3



中空知ふるさと議員交流会 7/5



THE祭 7/6



全国市議会議長会研究フォーラムin砂川 7/10



すながわジャリボリー 7/13